

施設ボランティア担当者の実態調査 報告書

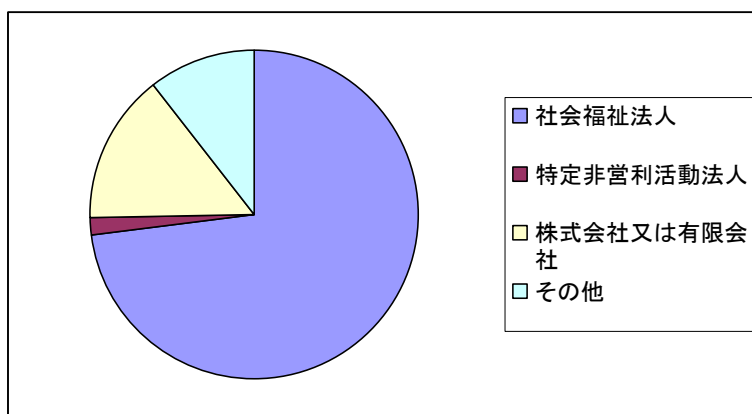
四條畷市社会福祉協議会

実体調査の結果概要

- 1, 実施期間 平成19年4月1日～5月31日
- 2, 対象 福祉施設 (70施設が回答)
- 3, 調査方法 各施設に調査用紙を配布して、郵送などにより回収又は、
面談による聞き取り
- 4, 集計 四條畷市社会福祉協議会

(1) 施設の運営形態はどの分野ですか
(あてはまるものに○をつけてください)

- | | |
|-----------------------------|----|
| 1, 社会福祉法人 | 49 |
| 2, 特定非営利活動法人 (NPO法人) | 1 |
| 3, 株式会社又は有限会社 | 10 |
| 4, その他 (具体的に) | |
| 医療法人 4 社団法人 1 無認可作業所 1 白紙 1 | 7 |



全体に占める割合としては社会福祉法人が大半を占めています。また、株式会社又は有限会社からの回答もあり、日常的にボランティアを受け入れていることに関しては、運営形態による差はないものと考えられます。

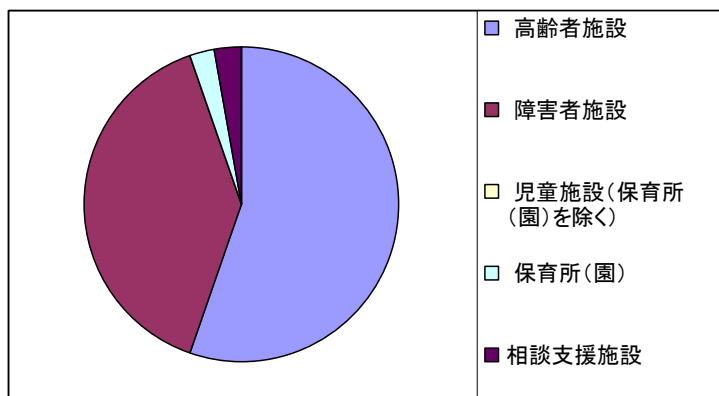
(2) 施設はどの分野ですか

(あてはまるものに○をつけてください。複数回答可)

- | | |
|--------------------|----|
| 1, 高齢者施設 | 41 |
| 2, 障害者施設 | 29 |
| 3, 児童施設(保育所(園)を除く) | 0 |
| 4, 保育所(園) | 2 |
| 5, 相談支援施設 | 2 |

(地域包括支援センター、障害者支援センター、子育て支援センター、人権相談、女性相談など相談業務を主な事業としている場合は、こちらにも○をつけてください)

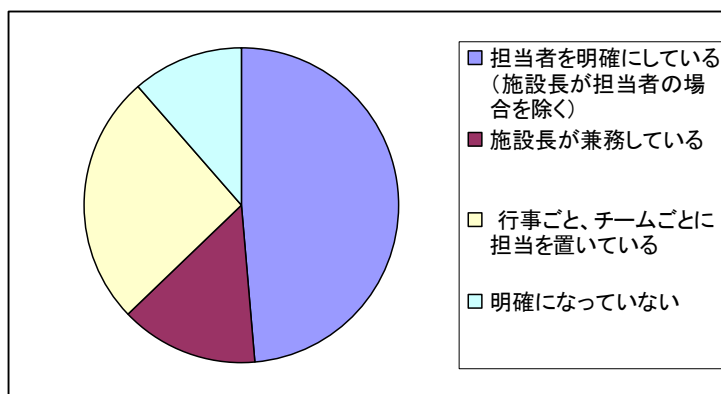
- | | |
|-------------|-----|
| 6, その他(具体的に |) 0 |
|-------------|-----|



回答いただいた施設分野では、高齢者施設が過半数を占めており、子ども関係の施設からの回答が少ない状態です。

(3) ボランティア担当者は、明確にされていますか
(あてはまるものに○をつけてください。)

1, 担当者を明確にしている (施設長が担当者の場合を除く)	34
2, 施設長が兼務している	10
3, 行事ごと、チームごとに担当を置いている	18
4, 明確になっていない	8



ボランティア担当者を明確にしているかの設問に対しては、「1」から「3」までを含めると9割が担当を設置していると回答しています。ボランティア担当を相談員が兼務をしている場合が多く、職員数が少ない(出勤職員数が1名から2名程度)施設の場合は施設長がボランティアに関する連絡先としていることが多いので、「2」を選択している場合が多いのではと推測されます。

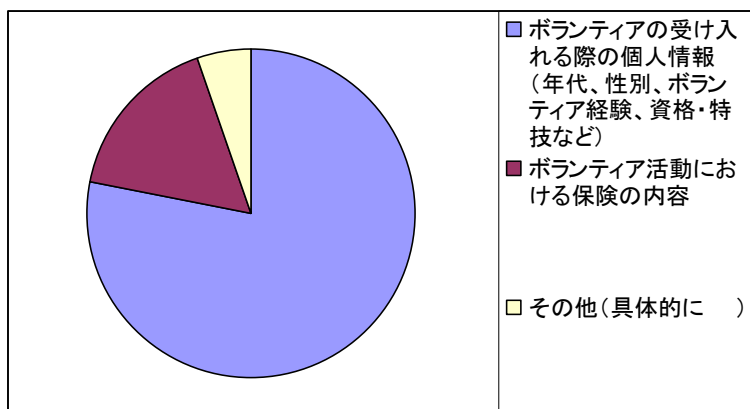
(3) - 1

(3)で「4」とした施設にお伺いします。明確になっていない理由としてはなんですか(あてはまるものに○をつけてください。複数回答可)

1, ボランティアの受け入れがないため	0
2, ボランティアの受け入れが月1回以下で少ないため	2
3, 部門ごとにボランティアの受け入れを行っているため	3
4, 実習生や見学者担当職員の兼務としているため(なんとなくボランティア担当者となっている場合を含む)	3
5, その他	0
(具体的に)

(4) ボランティア担当の方が、ボランティアの受け入れで必要とする情報はどのようなものですか。

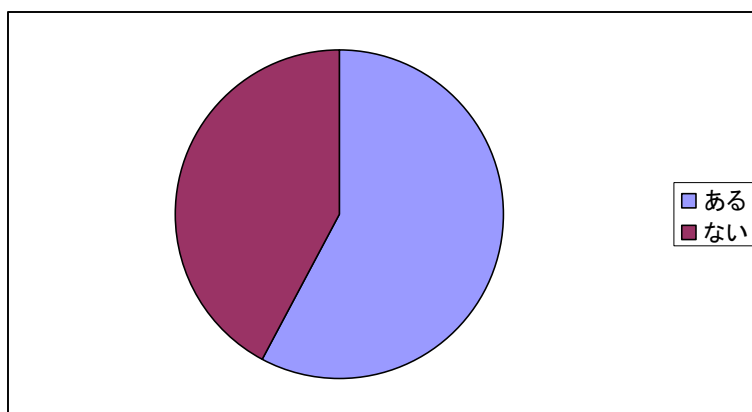
- | | |
|---|----|
| 1, ボランティアの受け入れる際の個人情報（年代、性別、ボランティア経験、資格・特技など） | 60 |
| 2, ボランティア活動における保険の内容 | 13 |
| 3, その他（具体的に) | |
- ・社協ボランティア
 - ・ボランティアの内容
 - ・社協ボランティアセンターと調整
 - ・当施設は老人福祉施設のため重介護の入居者ばかりです。またほとんどの方が認知症です。そういう状況をよく理解してくれる方を望みます。



ほとんどの施設が「1」を選択しています。これは、ボランティアの受け入れを行う一方、利用者保護のためにも事前にどのような人かを知っておきたいのではと推測されます。社会福祉協議会は、ボランティアの個人情報の保護に留意する中で施設側にも必要な情報を提供していく必要があると考えられます。ボランティア保険については、施設がボランティア保険料を負担して加入しているところがある一方、ボランティア個人の責任で加入するものという考え方もあるため、回答数が少なかったのではと推測されます。

(5) ボランティアの受け入れに関して、施設として工夫されていることはありますか。

- | | |
|-------|----|
| 1, ある | 37 |
| 2, ない | 27 |



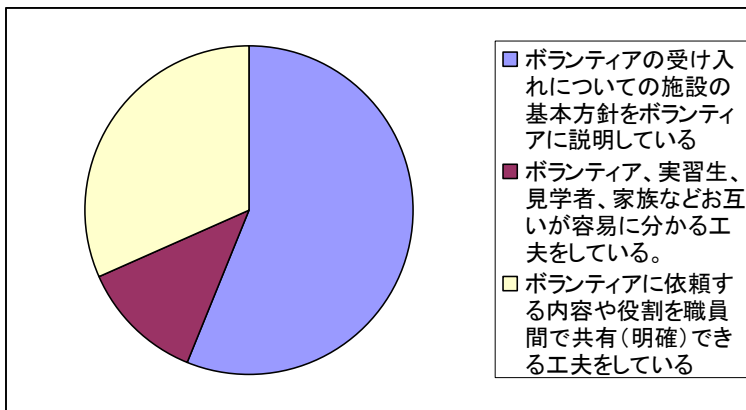
「1」と回答した施設が過半数を占めています。「1」を回答された施設は、施設としての基本方針の設定や受け入れ方法の取り決めがある場合が多い模様です。「ない」と回答された施設も全く工夫していないのではなく、マニュアルなどを整備していないため「2」を回答したと考えられます。

(5) - 1

(5)で「1」とした施設にお伺いします。どのような工夫をされていますか。

- | | |
|--|----|
| 1, ボランティアの受け入れについての施設の基本方針をボランティアに説明している | 23 |
| 2, ボランティア、実習生、見学者、家族などお互いが容易に分かる工夫をしている。 | 5 |
| 3, ボランティアに依頼する内容や役割を職員間で共有（明確）できる工夫をしている | 13 |

※ 施設での取り組みに際し、工夫していることがございましたら、下記にご記入又は、資料を添付ください。その内容は、調査協力施設に報告書として送付する際に列記させていただきますのでよろしくお願ひします。(ただし、施設名は記載しません)

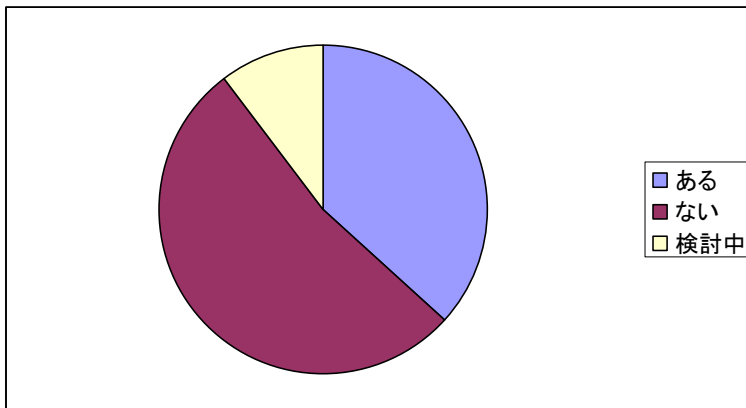


4, その他 (具体的に)

(別紙 1)

(6) 施設でボランティアの登録制度がありますか

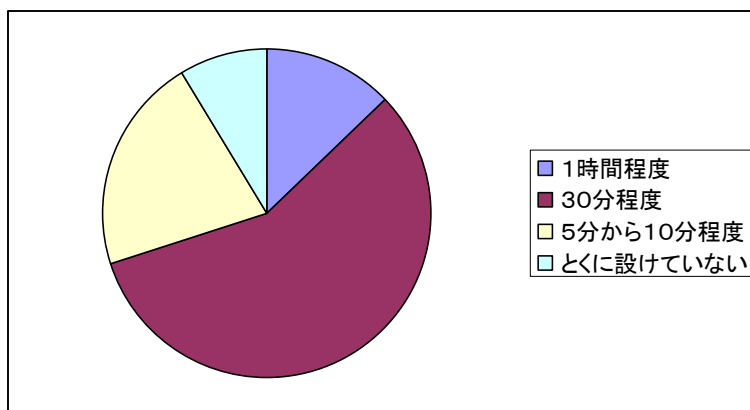
1, ある	25
2, ない	36
3, 検討中	7



登録制度という「制度化」まではしていない施設が多いです。今後は、施設利用者の個人情報保護の観点からは、登録制度以外の形であってもボランティア活動者の把握は必要であると考えられます。ボランティア登録制度の実施に際しては、ボランティアの個人情報の保護に留意する中ことも必要と考えられます。

(7) 施設で初めて来たボランティアに対して説明の機会を設けていますか。

1,	1時間程度	9
2,	30分程度	40
3,	5分から10分程度	15
4,	とくに設けていない	6



ほとんどの施設が初めて来たボランティアに説明を行っています。経験年数の多いボランティアであっても、初めて来た施設のやり方などを知ってもらうためにも一定の説明方法することが大切です。

(8) ボランティアに依頼する内容は、どの程度まで考えますか。

(あてはまるものに○をつけてください。複数回答可。担当者の意見で結構です)

1,	行事、イベントの手伝い	48
2,	施設職員の補助的な役割 (洗濯物、掃除、移動介助、衣服着脱介助、利用者との話し相手等)	31
3,	その他 (具体的に)	17

行事の実施にボランティアの協力依頼を行っている施設や日常的にボランティアを受け入れている施設は、「1」と「2」の両方に回答をしています。その他についても「1」に近い回答をされている場合が多いです。

(9) ボランティア活動に関する「実費」とは、どの範囲までと考えますか。
 (あてはまるものに○をつけてください。複数回答可。担当者の意見で結構です)

- | | | |
|----|------------|-----|
| 1, | 交通費 | 4 2 |
| 2, | 食事代 | 4 0 |
| 3, | ボランティア保険代 | 1 7 |
| 4, | その他(具体的に) | 5 |
- ・お茶菓子代
 - ・活動の頻度や日数による変えても良いかも
 - ・園芸の実費
 - ・お茶代 ・ あくまで無償

過半数の施設で、交通費、食事代は実費として考えられている様です。ボランティア保険については、個人負担との考え方もあり、実費の範囲に含めていない場合が多いです。

(10) ボランティアに関する情報をどのように入手していますか。
 (あてはまるものに○をつけてください。複数回答可)

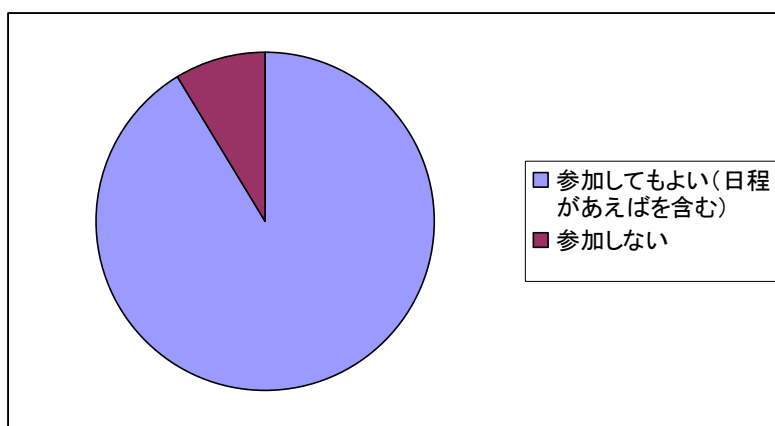
- | | | |
|----|----------------|-----|
| 1, | 市・社協の広報紙など | 4 6 |
| 2, | 他の施設職員から | 1 3 |
| 3, | 市・社協のホームページなど | 7 |
| 4, | 書籍から | 4 |
| 5, | その他(具体的に 別紙1) | 7 |

ボランティアに関する情報入手の手段について、市・社協の広報紙である施設が過半数を占めています。

(11) 社会福祉協議会主催で、施設ボランティア担当者交流会もしくは、研修会を企画した場合、参加しても良いと考えますか。(あてはまるものに○をつけてください。担当者の意見で結構です)

- | | |
|-----------------------|----|
| 1, 参加してもよい(日程があえばを含む) | 64 |
| 2, 参加しない | 6 |

※施設ボランティア担当者交流会とは、各施設ボランティア担当者や社協職員や施設で活動されているボランティアが集まり、相互に工夫していることや、成功した取り組みなどについて、意見交換を行ったりするものを想定しています。



ほとんどの施設が交流会などを通じて、他施設の対応や取り組みなどの機会を持つことを希望されています。

(12) ボランティアに望むことがありましたら、ご記入ください。

(別紙 1)

例えば・・・継続性、マンネリ化、費用、個人情報保護、意識など

(13) 社会福祉協議会に望むことがございましたら、ご記入ください。

(別紙 1)

例えば・・・登録団体、情報、連携など

(14) その他、何かありましたらご記入ください。

(別紙 1)

別紙1 自由回答欄 まとめ

(自由回答欄は、原則として記載された内容をそのままにしています)

(5) —1 ボランティアの受け入れに関して、施設として工夫されていることはありますか。

(4) その他 記述

- ・ 団体、グループの場合は、活動フロアーに大きな表示を掲示する。
- ・ ボランティアの方々に取り組んで頂く範囲を明確にしており、行事などお手伝いを頂く際は、事前に簡単な説明を行うように対応しております。
- ・ 職員と同じように話し相手になっていただき、レク、体操も同じようにしていただいている。介助だけは別です。
- ・ 活動内容について全員にオリエンテーションの機会をつくっている
- ・ ボランティアと利用者の間に入り円滑なコミュニケーションがとれるようにしている
- ・ ボランティア養成講座を開講している
- ・ 事前に打ち合わせができる時間をつくっている
- ・ ボランティア活動の手引きを作り配付している
- ・ お互いに疑問があれば意見があれば交換するよう心がけている

(8) ボランティアに依頼する内容は、どの程度まで考えますか。

8-3 自由回答

- ・ イベント演奏、演奏・楽器・園芸
- ・ その人の能力に応じ臨機応変に対応
- ・ 園芸（施設周辺のプランターなど手入れ）
- ・ パソコン操作の指導
- ・ 囲碁の相手
- ・ 余暇支援
- ・ 作業支援
- ・ 定期的に活動してくれるクラブ的なもの（一緒にダンス・お花・習字など）
カルチャー教室講師、散歩、一緒に外出してくださる方、コミュニケーション、日中活動（作業、散歩など）
- ・ 演奏、歌

(10) ボランティアに関する情報をどのように入手していますか。
5, その他(具体的に)

- ・ 近隣の方、大学等、ボラセンター、学校(実習生など)
- ・ ボランティアサークル
- ・ 「他施設を回っています」と依頼をいただいた。
- ・ ボランティアから
- ・ アクロス・大学、専門学校の教員・学校訪問(依頼のため)
- ・ チラシ配布・募集案内状の郵送・社協などへ出向く
- ・ 地域交流の中で・施設職員間・学校へのお願い(大阪産業大学・四條畷学園短期大学・鴻池福祉専門学校知人、利用者口コミ、ボランティアセンター、NALC)

(12) ボランティアに望むことがありましたら、ご記入ください。

- ・ 継続性、マンネリ性、意識
- ・ どの程度してもらってよいのかつかみにくい
- ・ 多くお方に参加してもらえたら
- ・ ボランティアチームの中でも取りくむ姿勢に対してばらつきがある。
- ・ 意識を持っている積極性がほしい。
- ・ もっとボランティアと意見交換をしたい。
- ・ 責任感、個人情報保護、利用者への対応の仕方
- ・ 高齢者施設ですので、言葉づかいには気をつけていただきたいと思っております。
- ・ 継続して参加してもらえることが施設としても利用者との関係においても大切だと思います。
- ・ 初対面の際、こういった性格の方が把握してから利用者と合わせるのが一番神経をつかう。障害者を主に考えてほしい。
- ・ 積極的に協力いただき、助かっている
- ・ 行事の時に手伝っていただき、助かっている。
- ・ ボランティア自身の意識(してやってるではなく、共感できる活動としてとらえてほしい)
- ・ ボランティアの質・心からしたいと願っているか。
- ・ 楽しんで参加してもらいたい。
- ・ 障害者を身近に感じてほしい。
- ・ 継続性に関する内容 4件

- ・クラフトができる方。クラブ活動として立ち上げたい。ボランティアに先生となって もらい、月1～2回程度で活動したい。
- ・介助面でのフォローも必要なため、介護経験者の方がありがたい。
- ・利用者の個人情報保護の徹底
- ・約束の厳守
- ・施設での入居者様にとって、外部との関わりは大事だと考えています。
- ・「～しなければならない」と思わず、施設利用者とボランティアさんが一緒に話したり、子どもと関わりお互いにほっとリフレッシュしてもらえたらと思っている。
- ・気づいてすぐ動ける方
- ・人権意識
- ・活動の目的を伝えてほしい
- ・押し付けがましい方がいるので配慮してほしい
- ・継続性があると利用者との信頼が築けて大きな行事等も安心してまかせられる
- ・継続性、費用（基本的に無償とさせていただいています）
- ・個人情報保護の意識がうすい方がいる
- ・何でも分からないことがあると聞いてくれる方
- ・利用者の目線で動ける方
- ・ていねいな言葉遣い
- ・ボランティアの方々との交流を共に大切にしていきたい
- ・決まりごとを守って欲しい

（13）社会福祉協議会に望むことがございましたら、ご記入ください。

- ・個人ボランティアで話し相手を望む。
- ・情報・ボランティアの情報や連携を取りたい。
- ・新しいボランティアチームの発掘が難しい。フリーな曜日ボランティアチームがないように思います。そのあたり情報がほしいです。
- ・情報がもらえれば、依頼する機会も増えると思う。
- ・ボランティアグループ内で分裂があったり、施設側で選択しなければならなくなり、少し困った。
- ・ボランティアの連絡や活動内容の確認に施設と参加者との間で連携に入ってもらいたい。
- ・登録団体の情報を入れてほしい。
- ・社会福祉協議会の役割がわかりにくい
- ・施設に対する支援がなされているようであれば、教えてください。

- ・大東市ボランティアフェスティバルをもっと盛り上げてほしい。
- ・606会以外に若い団体があれば利用したい。
- ・ボランティア希望者の紹介
- ・情報・連携に関する内容 2件
- ・情報などファクスなどで知らせてもらえないか。
- ・ボランティアに関する苦情受付窓口
- ・積極的な紹介、個人希望者の活動支援
- ・20~40代、中・高校生を対象にしたボランティア体験の場を作って欲しい
- ・ボランティアの情報
- ・情報、連携等を密にとり一緒に活動できたらよい
- ・学校の単位取得の為や会社の命令などでは来られるとこまりますので、前もって活動理由が分かればいいです。

(14) その他、何かありましたらご記入ください。

- ・職員も新たな気持ちと緊張感が出て刺激になる
- ・ボランティアさんが来てもらうことにより利用者に活気がでる。
- ・ボランティアの気持ちが現場に生きるような意識面の講座をしてほしい